

銅の不思議～美しさを支える化学～

青・緑・赤の多彩な発色をする銅を用いた美術品を、化学的な視点を交えて紹介します。化学が好きな方、美術品が好きな方、色が好きな方など、興味があればご参加ください！

開催日：2016年12月14日(水)
12：30～12：50（20分間、途中入退場OK）
場 所：総合図書館B棟2F ラーニング・commons
講 師：理学研究科 鈴木

おなじ銅なのにどうしてこんなに色が違うの??



銅は陶器やガラスを始め、絵画などでも古来から利用されている発色剤です。銅の発色剤を使った作品を紹介しつつ、無機化学的な視点から発色メカニズムについて勉強します。化学初心者の方も歓迎です！

[画像出典]

(左)「藍切子角足坏」『世界ガラス美術全集 5 日本』図110 (p.58)

(右)「銅赤切子盃」同書, 図120 (p.61)

(中)「織部獅子鈕香炉」東京国立博物館 提供